

釜石市にタレント養成所を設立する

きく ち ゆ み こ
菊 池 由美子さん(57)

ひと

古里・釜石市



成所を立ち上げる。「不安はあるが、賛同してくれる仲間や講師がいるので『絶対できる』と信じて進みたい」と意気込む。小学生の時にピンクレディーを見て芸能界に憧れた。釜石北高(現釜石高)を卒業後、首都圏の短大に進学。スカウトされる人が多いと聞き、東京・原宿の竹下通りに毎日通った。「当

然そんなことはなかったですが」と苦笑いする。
働きながらモデルやリポーターに挑戦。どれもしっくりこなかったが「なりたい職業も人の人生も経験できる」と役者の道へ。寝る間を惜しんで演技を学び「役者じゃなくなったら自分じゃなくなる」と歯を食いしばって努力を重ねた。

時代劇の劇団にも入り、そこで始めた日本舞踊に「個性をつくってもらった」と感謝する。2022年までしこ日本コンテストでグランプリに輝いた。
審査中のスピーチで「東北の活性化、復興のために残りの人生をささげる」と宣言。有言実行するため、23年に釜石に戻り実家で暮らす。母親と趣味の韓流ドラマを見てリフレッシュする。

(釜石支局・三浦隆博)